

2021年12月2日

## 「2022年3月期 第2四半期オンライン決算説明会」質疑応答

11/25(木)に開催したアナリスト向け「2022年3月期 第2四半期オンライン決算説明会」の質疑応答をご紹介します。(回答者：代表取締役 COO 社長 柳田要一)

### Q：新市場はどこに位置づけられますか？

A：スタンダード市場を選択し、申請しました。

### Q：ハンズオン DX 事業の進捗が中期計画説明発表以来、見えていないですが、計画を教えてください。(2024年度に15億の売上は可能なのでしょうか。)

A：ハンズオン DX 事業は通常事業との線引きが難しいですが、可能性のある事業を各方面からソーシングしていただき可能性を探っています。実現しているのは2021年始めに発表している1社ですが、全体の計画は開示していないため詳細の発表は控えさせていただきます。

ただ、企業のDX投資のニーズは非常に高く、このニーズに対して私たちがお客様と受託という形で商売するのが通常事業であり、そうではなく、資本提携などをして一蓮托生で利益をシェアしていこうというパターンがDX事業だと考えています。DX事業単体の計画は社内にはありますが、それが通常事業に転ぶ可能性もあり、逆もあるため、明確に計画に沿ってやっているわけではありません。しかし、市場のニーズは非常に高いのでDX事業も含めて引き合いが増加しているということだけコメントさせていただきます。

### Q：大量に採用募集している目的と、進捗を教えてください。

A：上記の引き合いに対して、人的リソースがボトルネックになってはいけなないので、少し強気で採用をしようとしているところです。簡単に採用できる環境ではありませんが、人材リソース目的のMAも含めて採用を進めています。

### Q：商流額、決済額、利用店舗数がいずれも対前年同期で減少しているにもかかわらず、「ECシステム」売上高が前年同期で増加している背景について教えてください。

A：中小型向けシステムの商流額、決済額、利用店舗数は減少していますが、大規模向けのシステムは専用EC構築システムの部分が大きく伸びたため、全体として増収となりました。(決算説明資料 p.4 参照)

### Q：第2四半期の3ヵ月の営業利益の伸びが高かった要因を教えてください。去年が通常より低かったということでしょうか？

A：ECシステムの増収が主な要因ですが、一部、収益認識基準の適用の影響があります。検収基準から進行基準に変わったため、去年は月によって利益の凸凹が激しく起こっていましたが、それが平準化され、上期全体の数値として、より適切であると理解していただければと思います。

**Q：持分法が大きく減っているのはなぜでしょうか？下期はどうなりますか？**

A：持分法として投資している EC ホールディングスという会社があり、昨年はこちらの利益がものすごく大きく出た、出すぎであったかもしれません。今年が適正であると思っています。下期も昨年のようなことはなく、今年も上期の状況をイメージしておいたほうが良いと思っています。

**Q：上期は予定以上に好調だったように思えるのですが、通期の数字を据え置いたのは、上期はそんなに計画比で上振れたわけではないということですか？**

A：通期の予算しか開示していないため、申し上げづらいですが、上期の予算は少し上振れで着地しました。しかし、通期予想を修正するほどのレベルではありません。

**Q：「ECシステムがマイクロサービス化できるアーキテクチャになっているか」とは具体的にどういうことでしょうか？**

A：OMOは、オンラインとオフライン両方のいいところを融合するため、柔軟にシステム開発ができなくてはいけないということや、1つのシステムを開発し終わった後に、次の拡張したシステムを開発するということが結構あります。短期間に開発できるものではないため、システムの柔軟性と拡張性が非常に求められます。そのためのシステムアーキテクチャとして、ひとつひとつ機能ごとにシステムとして独立した形で有機的に繋がっているという構造がキーワードになってきます。お客様のニーズとこういった当社のノウハウが合致していることが、引き合いが増えている要因でもあります。

**Q：企業のDX投資が堅調とのことですが、現在受託しているECシステムの開発案件は、いずれ決済サービスの売上にも貢献してくるという理解でよろしいでしょうか？その場合、貢献してくるタイミングは来期からになりますでしょうか？**

A：既存のECシステム受託案件は、残念ながら決済サービスとしては収益となりません。現在、決済サービスとして収益が見込める新規の大型案件の営業を進めており、来期以降に取り込むことが可能であると考えています。